

製品名: IL-2R β (リン酸化 Tyr364) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04838**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	IL2RB
別名	IL2RB; Interleukin-2 receptor subunit beta; IL-2 receptor subunit beta; IL-2R subunit beta; IL-2RB; High affinity IL-2 receptor subunit beta; p70-75; p75; CD antigen CD122
遺伝子 ID	3560.0
SwissProt ID	P14784
免疫原	抗血清は、ヒト IL-2R ベータの Tyr364 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 331-380

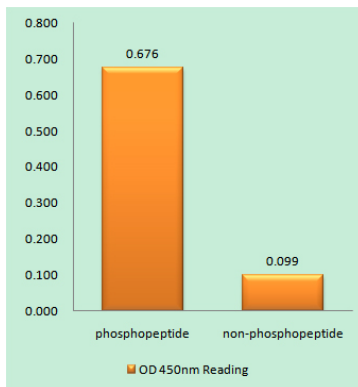
背景

T細胞を介した免疫応答に關与するインターロイキン2受容体には、インターロイキン2への結合能に關して3つの形態が存在する。低親和性形態はαサブユニットの単量体であり、シグナル伝達には關与しない。中親和性形態はα/βサブユニットヘテロ二量体から構成され、高親和性形態はα/β/γサブユニットヘテロ三量体から構成される。中親和性形態および高親和性形態の受容体はいずれも、受容体を介したエンドサイトーシスおよびインターロイキン2からの細胞分裂促進シグナルの伝達に關与する。この遺伝子によってコードされるタンパク質はβサブユニットであり、I型膜タンパク質である。代替プロモーターの使用により、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生じる。このタンパク質は主に造血系で発現される。一部のバリエーションでは、アップドメインにおいて代替プロモーターが使用されています。ボックス1モチーフは、JAKとの相互作用および/または活性化に必要です。ドメインWSXWSモチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要と考えられます。機能インターロイキン-2の受容体。このベータサブユニットは受容体を介したエンドサイトーシスに關与し、IL-2の細胞分裂促進シグナルを伝達します。類似性I型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ4サブファミリー。類似性III型フィブロネクチンドメインを1つ含みます。サブユニットα鎖とβ鎖の非共有結合型二量体。IL-2Rには、高親和性二量体、中親和性単量体(β鎖)、および低親和性単量体(α鎖)の3つの異なる形態があります。高親和性および中親和性HTLV-1アクセサリタンパク質p12Iと相互作用します。

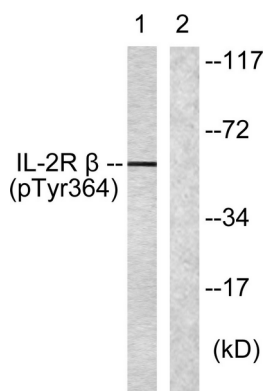
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;エンドサイトーシス;Jak_STAT;

画像データ



IL-2Rベータ(リン酸化Tyr364)抗体を用いたリン酸化ペプチド(リン酸化左)および非リン酸化ペプチド(リン酸化右)免疫原の酵素結合免疫吸着測定法(リン酸化ELISA)



IL-2Rβ(リン酸化Tyr364)抗体を用いたHeLa細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。